

20170924 「兄との再会」

目標： ヤコブとエサウのやりとりから、聖書の記述に込められた意味の深さを知り、神様の評価の不思議さに目を向ける。

聖書箇所：創世記33：1-20 時間：10分

暗誦聖句：「エサウは走ってきて迎え、彼を抱き、その首をかかえて口づけし、共に泣いた」（創世記33：4）

道具： ホワイトボード、ペン

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点： エサウの駆け寄りや放蕩息子に似ているが、通じてはいないと思う。無理に新約に繋げるより、物語の背後にあるものに目を向けさせたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>前回のおさらいをしたいと思います。どういうことがあったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤコブが神様と格闘した</li> <li>・足が外れた。</li> <li>・エサウと会うことになった。</li> </ul>	<p>子どもたちに説明させるよう努める。必要に応じてヒントを出し、図解していく。</p>
課題探究	6分	<p>ヤコブは実は自分だけは逃げられるようにといろんな策略を練っていたのです。しかしもの関節が外されてしまって、逃げられなくなってしまいました。</p> <p>ところが、今、ヤコブはみんなの先頭に立って、エサウに会おうとしています。神の人と格闘の後、気持ちがどう変わったと思いますか。</p> <p>エサウが400人をつれてきていると聞いても、その足は止めませんでした。</p> <p>ヤコブはエサウと遂に再会しました。</p> <p>その後、エサウは一緒に行こうと勧めますが、ヤコブはそれを固辞します。なぜだと思いますか。</p> <p>こういうのを、「敬して遠ざける」と言います。</p> <p>一説には、彼ら双方共に家畜などの財産が大きかったので、一つ処にいては互いに養えず、争いになってしまうのを避けるためだったということですね。</p> <p>ヤコブとエサウを、みんなはどう思いますか。先生はどうしてもエサウの方が好きです。</p> <p>では、なぜ神様はヤコブを選んだのだと思いますか。ヤコブのエサウに優っていることを考えましょう。</p> <p>神様は、人間と同じまなざしで人を見ません。ただ、神様に対してどう向き合うかで人を判断します。そして神様を大切にすれば、たとえヤコブでも、恵みを与えて下さるのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会いたくないから会いたいへ</li> <li>・仕方が無い。動けないんだから。</li> </ul> <p>・わからない</p> <p>・わからない</p>	<p>家畜、自分の妻たち子たちの配置とヤコブの位置から、ヤコブの狡猾さを考えさせる。</p> <p>結局の所正解はいろいろ考えられる。ヤコブの内側を推察することを通し、人の変化する感情について考えを向けさせたい。板書して記録していく。</p> <p>上記項目の補足。必要に応じて挿入する。</p> <p>暗唱聖句を参照し、その空気を掴ませるよう努める。</p> <p>このヤコブの有り様はなかなか理解できないだろうと思う。理解できなくても、人間の心理の不思議さに触れるだけで、意味があると考える。</p> <p>上記項目の補足説明をし、私達の社会にしばしばあることだと伝えたい。</p> <p>教師が理由を挙げながら、子どもたちに意見を求める。恐らくヤコブを嫌い、エサウを好む人が多いと思われるので、それらの意見を板書する。</p> <p>恐らく答えは子供からは出ないと思われる。教師から、「神様への執着の一点だけ」を提示する。</p> <p>神様のまなざしの特異性を伝えて、だから、私達は、人の評価と違う評価を神様はしてくださるという恵みに繋げる。</p>
まとめ	2分	<p>神様は約束通りにヤコブを兄エサウと再会させてくださいました。神様は、神様を選ぶ人に、恵みを与えてくださる方です。</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。父イサクの葬儀を、兄弟で行った事を併せて伝えて、兄弟の和解も神様によって与えられたことを提示して余韻を残す。</p>